

◆優秀賞◆

アメリカ ROTC システム ～経済的徴兵制が奪う若者の未来～

人文学部社会科学科 4年

小澤絵理

ROTC(Reserve Officer Training Corps)は、日本語では予備役将校訓練課程と訳され、専門知識を兼ね備えた職業軍人を輩出するために役 100 年前からアメリカで続いているプログラムである。

充実した奨学金や就職待遇などが魅力となり多くの学生が毎年加入を希望する。アメリカでは軍に対するイメージはよく、国のために働く兵士にも尊敬や感謝の声が寄せられる。よって ROTC プログラムに対する問題意識が生まれることはなかった。

しかしながら、経済低迷、世帯収入の減少、高い大学進学率などの要因が合わさった時、ROTC プログラムは「経済的徴兵制」の道具へと変化する。社会によって窮地に追い込まれた学生に残された選択肢は辛く長い兵役義務であり、それは学生の将来を蝕んでいく。

アメリカ国内の「経済的徴兵制」を指摘する「ルポ 貧困大国アメリカ」「報道が教えてくれないアメリカ弱者社会～なぜあの国にまだ希望があるのか～」を参考に、まだ堤が触れていなかった大学の将校育成制度 ROTC プログラムの実態と学生に対する影響を検証していく。